

液剤だから、
カンタン希釈！

害虫防除に

いやな臭いが
ありません！

ミツバチ・マルハナバチに影響が少ない薬剤です。



モスピラン®SL 液剤

●有効成分：アセタミプリド…18.0% 殺虫剤分類 4A ●人畜毒性：医薬用外劇物



日本曹達株式会社

■適用害虫および使用方法

*印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤およびアセタミプリドを含む農業の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用* 時期	総使用回数*		使用方法		
					本剤	アセタミプリド			
かんきつ	アブラムシ類、ミカンハモグリガ コアオハナムグリ、ケシキスイ類、アゲハ類 コナジラミ類、アザミウマ類、 カメムシ類、カイガラムシ類 ゴマダラカミキリ成虫、ミカンバエ	2,000～4,000	200～700	14日	3回	3回	散布		
	ゴマダラカミキリ	200～400	30～75					主幹から 株元に散布	
キウイフルーツ	キウイヒメヨコバイ	4,000	200～700	7日				散布	
びわ	アブラムシ類			前日					
ばれいしょ	テントウムシダマシ類、ナストビハムシ	2,000～4,000	100～300	7日		4回 (植付時の土壌混和は1回、 植付後は3回)			散布
		2,000～6,000							
		1,000					25	無人航空機 による散布	
とうもろこし(子実)	アブラムシ類	64	3.2	14日 前日		3回	3回	散布	
未成熟とうもろこし		4,000～6,000	100～300						無人航空機 による散布
豆類 (種実、ただし、だいず、あずき、 いんげんまめを除く)			64	3.2					
			4,000						
だいず	アブラムシ類、カメムシ類、 マメシンクイガ、フタスジヒメハムシ	2,000～4,000	100～300	14日	3回	3回			
あずき	ノメイガ類	2,000							
いんげんまめ	アブラムシ類、マメホソクチゾウムシ	2,000～4,000							
	アブラムシ類	2,000							
やまのいも	アブラムシ類	4,000		7日					
やまのいも(むかご)				21日					
はくさい	コナガ、アオムシ	2,000		14日			4回 (粒剤の定植時までの処理は1回、 散布および定植後の株元散布は合計3回)		
ブロッコリー	アブラムシ類	2,000～4,000							
	コナガ、アオムシ	2,000							
キャベツ	アブラムシ類	4,000							
	コナガ、アオムシ、キスジノミハムシ	2,000		7日	5回		6回 (粒剤の定植時までの処理は1回、 散布および定植後の株元散布は合計5回)		
だいこん	アブラムシ類	2,000～4,000		14日	1回		1回		
はつかだいこん	コナガ、アオムシ	2,000							
たまねぎ		4,000							
ねぎ	アザミウマ類	2,000～3,000		7日	3回		3回 (は種時の土壌混和は1回、 植付時の土壌混和および 定植当日までの株元散布は合計1回)	散布	
	アザミウマ類、カメムシ類								
豆類 (未成熟、ただし、えだまめ、 さやいんげん、さやえんどうを除く)	アブラムシ類	4,000	7日	3回	3回				
えだまめ	アブラムシ類、カメムシ類、マメシンクイガ フタスジヒメハムシ				4回 (は種時または定植時の 土壌混和は合計1回、散布は3回)				
さやいんげん さやえんどう にんじん	アブラムシ類				3回				
かぼちゃ			2,000～4,000	2回	3回 (粒剤の定植時までの処理は1回、 散布および定植後の株元散布は合計2回)				
麦類	ムギキモグリバエ		4,000～6,000		2回				
てんさい	アブラムシ類、テンサイトビハムシ ヨトウムシ、カメノコハムシ		4,000	60～150	7日	3回	3回 (苗床灌注は1回)		
	テンサイトビハムシ		200	100～300	3日				
茶	コミカンアブラムシ、チャノホソガ ツマグロアオカスミカメ、マダラカサハラハムシ		4,000	ペーパーポット1冊 当り1ℓ(3ℓ/m²)	定植前	1回	1回		散布

- ⚠ 効果・薬害等の注意**
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
 - 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせ調節してください。
 - てんさいに使用する場合、定植初期の幼苗に軽微な薬害を生じる場合があるので、使用濃度、および量を守って処理してください。
 - 散布に対しては長期間毒性があるので、近くに桑園のある場合には絶対に桑葉にかからないようにしてください。
 - 無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守ってください。
 - ① 散布は散布機種の散布基準に従って実施してください。
 - ② 散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管、その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - ばれいしょに対して希釈倍数1,000倍で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の手動式速度運動式

- 地上液剤散布装置を使用してください。
- 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
 - 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- ⚠ 安全使用上の注意**
- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の処置を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の処置を受けてください。
 - 本剤の中毒に対しては、動物実験でL-メチオニン製剤、グリチルリチン製剤およびグルタチオン製剤の注射投与が有効であると報告もあります。
 - 眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意して

- ください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
-  ● 使用の際は防護マスク、不透水性手袋、不透水性防除衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
- 危険物第四類・第三石油類に属するので、火気には十分注意してください。
- 水産動植物への影響**：水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管**：密栓し、火気や直射日光を避け、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な乾燥した場所。カギをかけてください。盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 本剤は小児の手の届く所に置かないでください。 ● 使用後の空容器等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。





液剤だから
カンタン計量!
カンタン希釈!

豆類(種実)・豆類(未成熟)・麦類・
アスパラガス・たまねぎ・ねぎ・ばれいしょ・とうもろこし・
てんさい・やまのいも・キャベツ・はくさい・
ブロッコリー・だいこん・にんじん・かぼちゃの

いやな臭いが
ありません!

害虫防除に



モスピラン® SL 液剤

アブラムシ類・テントウムシダマシ・ハムシ類に優れた効果!



モモアカアブラムシ



マメアブラムシ



ナストビハムシ



テンサイトビハムシ



テントウムシダマシ



マメシンクイガ



若齢幼虫
ヨトウムシ





■適用害虫および使用方法 (抜粋)

*印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤およびアセタミプリドを含む農薬の総使用回数（制限）を示します。

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用 時期*	総使用回数*		使用方法	
					本剤	アセタミプリド		
アスパラガス	アザミウマ類、カメムシ類	4,000	100～300	前 日	2 回	2 回	散 布 無人航空機による散布	
ばれいしょ	テントウムシダマシ類 ナストビハムシ	2,000～4,000		7 日	3 回	(植付時の土壌混和は1回、 植付後は3回)		
		2,000～6,000						
	アブラムシ類	1,000 64						25 3.2
やまのいも		4,000		100～300	2 1 日	3 回		散 布 無人航空機による散布
やまのいも(むかご)								
麦類	ムギキモグリバエ		60～150	7 日	2 回	2 回		
とうもろこし(子実)	アブラムシ類	4,000～6,000	100～300	1 4 日 前 日	3 回	3 回		
未成熟とうもろこし				64 3.2			1 4 日	
てんさい	テンサイトビハムシ	200	ペーパーポット1冊 当り1ℓ(3ℓ/m ²)	定植前	1 回	3 回 (苗床灌注は1回)	苗床灌注	
	アブラムシ類 テンサイトビハムシ ヨトウムシ、カメノコハムシ	4,000		3 日			散 布	
ねぎ	アザミウマ類	2,000～3,000		7 日		3 回 (は種時の土壌混和は1回、 植付時の土壌混和および定植 当日までの株元散布は合計1回)		
たまねぎ	アブラムシ類	4,000	1 4 日	3 回	3 回			
豆類 (種実、ただし、だいず、あすき、 いんげんまめを除く)								
だいず						アブラムシ類、マメシンクイガ カメムシ類、フタスジヒメハムシ		2,000～4,000
あすき						ノメイガ類		2,000
						アブラムシ類 マメホソクチゾウムシ		2,000～4,000
いんげんまめ	アブラムシ類	4,000	7 日	3 回	4 回 (は種時または定植時の土壌 混和は合計1回、散布は3回)			
豆類 (未成熟、ただし、えだまめ、 さやいんげん、さやえんどうを除く)								
えだまめ						カメムシ類、マメシンクイガ フタスジヒメハムシ		
さやいんげん さやえんどう にんじん	アブラムシ類			前 日		3 回		
はくさい	コナガ、アオムシ	2,000	100～300	1 4 日	3 回	4 回 (粒剤の定植時までの処理は 1回、散布および定植後の 株元散布は合計3回)		
ブロッコリー	アブラムシ類	2,000～4,000						
	コナガ、アオムシ	2,000						
キャベツ	アブラムシ類	4,000						
	コナガ、アオムシ キスジノミハムシ	2,000						
だいこん	アブラムシ類	2,000～4,000						
	コナガ、アオムシ	2,000						
はつかだいこん		4,000		1 4 日	1 回	1 回		
かぼちゃ	アブラムシ類	2,000～4,000		前 日	2 回	3 回 (粒剤の定植時までの処理は 1回、散布および定植後の 株元散布は合計2回)		

上記以外にかんきつ・キウイフルーツ・びわ・茶にも登録があります。

⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせ調節してください。
- てんさいに使用する場合は、定植初期の幼苗に軽微な薬害を生じる場合があるので、使用濃度、および量を守って処理してください。
- 室に対しては長期間毒性があるので、近くに桑園のある場合には絶対に桑葉にかからないようにしてください。
- 無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守ってください。
 - ①散布は散布機種の散布基準に従って実施してください。
 - ②散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管、その他散布装置の十分な点検を行ってください。
- ばれいしょに対して希釈倍数1,000倍で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度運動式

地上液剤散布装置を使用してください。

- 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

⚠ 安全使用上の注意

- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の指導を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の指導を受けてください。
- 本剤の中毒に対しては、動物実験でL-メチオニン製剤、グリチルリチン製剤およびグルタチオン製剤の注射投与が有効であると報告もあります。
- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意して

ださい。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の指導を受けてください。



- 使用の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗顔してください。
- 危険物第四類-第三石油類に属するので、火気には十分注意してください。
- 水産動植物への影響：水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管：密栓し、火気や直射日光を避け、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な乾燥した場所。カギをかけてください。盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●使用後の空容器等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

本資料は2026年1月現在の登録内容に基づいています。



液剤だから、 カンタン希釈！



アザミウマ類



ゴマダラカミキリ成虫



コナカイガラムシ類



ヤノネカイガラムシ



ミカンハモグリガ幼虫



アカマルカイガラムシ



アブラムシ類



アゲハ類



コアオハナムグリ



コナジラミ類



ケシキスイ類

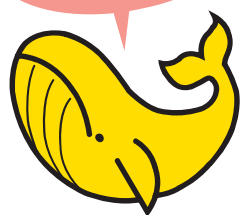


カメムシ類



いやな臭いが
ありません。

かんきつの害虫防除に！



モスピラン® SL 液剤



日本曹達株式会社

〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号
☎(03) 3245-6178 FAX(03) 3245-6084
<https://www.nippon-soda.co.jp/nougyo/>



かんきつの害虫防除に!

モスピラン®SL 液剤

有効成分：アセタミプリド 18.0% **殺虫剤分類 4A**

人畜毒性：医薬用外劇物

適用害虫および使用方法(抜粋)

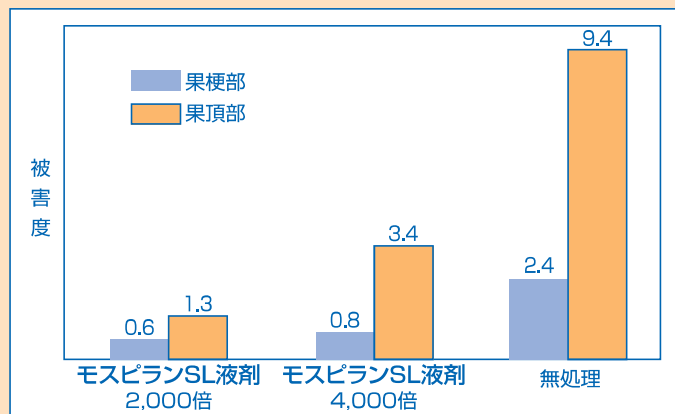
*印は収獲物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤およびアセタミプリドを含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期*	総使用回数*		使用方法
					本剤	アセタミプリド	
かんきつ	アブラムシ類、ミカンハモグリガ コアオハナムグリ、アゲハ類 コナジラミ類、ケシキスイ類 アザミウマ類、カイガラムシ類 ゴマダラカミキリ成虫、カメムシ類 ミカンバエ	2,000~4,000	200~700	14日	3回	3回	散布
	ゴマダラカミキリ	200~400	30~75				主幹から株元に散布
	アブラムシ類	4,000	200~700	前日			散布
びわ	アブラムシ類			7日			
キウイフルーツ	キウイヒメヨコバイ						

試験成績(かんきつ)

1999年 愛知県農業総合試験場
園芸研究所蒲郡支所

●チャノキイロアザミウマ



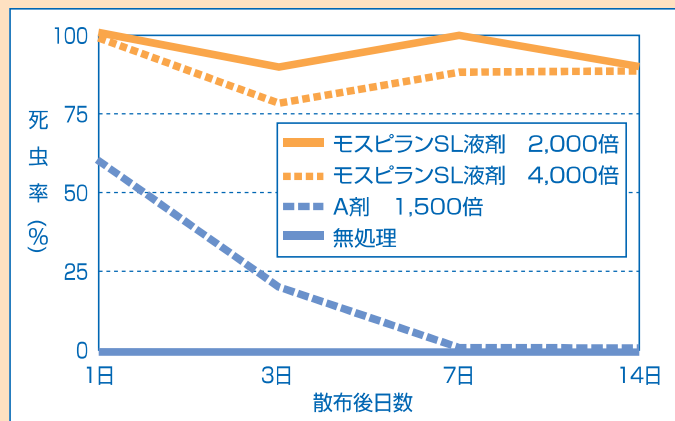
供試品種：興津
発生状況：少→中発生
区制・面積：1区9樹
処理：6/28、7/30、9/1
調査：10/1

△効果・薬害等の注意(抜粋)

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせ調節してください。
- 蚕に対しては長期間毒性があるので、近くに桑園のある場合には絶対に桑葉にかからないようにしてください。
- 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

●ゴマダラカミキリ成虫

2000年 和歌山県植物防疫協会



供試品種：興津早生
発生状況：接種
区制・面積：1区1樹
処理：7/3
調査：散布1,3,7,14日後に
カミキリムシ成虫を接種し、
48時間後に死虫率を算出。

●後食の程度

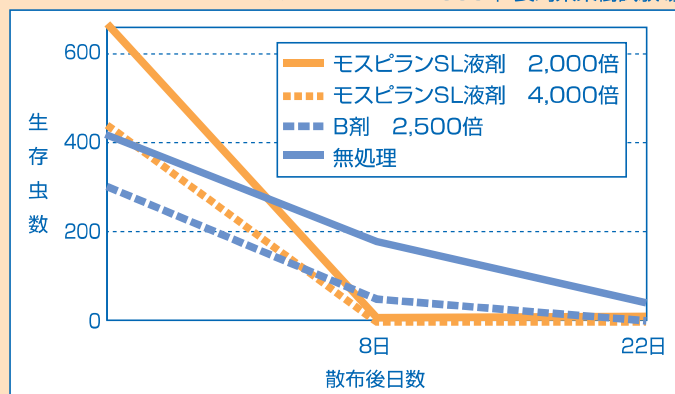
薬剤名	後食(18~14日)
モスピランSL液剤 2,000倍	少→中
モスピランSL液剤 4,000倍	少→中
A剤 1,500倍	中→多
無処理	多

△安全使用上の注意

- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤の中毒に対しては、動物実験でL-メチオニン製剤、グリチルリチン製剤およびグルタチオン製剤の注射投与が有効であるとする報告もあります。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 使用の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
- 危険物第四類・第三石油類に属するので、火気には十分注意してください。
- 水産動植物への影響：水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管：密栓し、火気や直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な場所にカギをかけて保管してください。
- 盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

●コナカイガラムシ類

1999年 長崎県果樹試験場



供試品種：原口早生
発生状況：中発生
区制・面積：1区1樹
処理：5/27
調査：5/26、6/4,18

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

本資料は、2021年6月現在の登録内容に基づいています。